

令和5（2023）年度
九州大学大学院生物資源環境科学府
博士後期課程社会人入試（10月入学）
学生募集要項

令和5（2023）年6月

九州大学大学院生物資源環境科学府

趣旨

学術・産業構造が急速に変化している状況下で、社会人を積極的に受け入れ、社会人の再教育、高度な専門知識を持った職業人の養成を行う。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、出願時において、企業、官公庁等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の推薦を受けた者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了して、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号参照）^{注1、注3}
- (7) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者及び令和 5（2023）年 10 月 1 日までに 24 歳に達する者^{注2、注3}

注 1 出願資格（6）に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の要件を満たす者であること。
大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者である。

なお、「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」とは、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者である。

注 2 出願資格（7）に定める「本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者及び令和 5（2023）年 10 月 1 日までに 24 歳に達する者」の範囲は、次の要件を満たす者であること。

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、生物資源環境科学関連分野の研究歴があり、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者である。

注 3 出願資格（6）、（7）による出願者は出願に先立ち、5.に記載する出願資格の事前審査を受けなければならない。

2. 募集専攻及び募集人員

募集専攻	募集人員
資源生物学専攻	若干名
環境農学専攻	若干名
農業資源経済学専攻	若干名
生命機能科学専攻	若干名
合計	若干名

注) 農業資源経済学専攻 農業資源経済学教育コースの国際農業開発学研究分野は募集を行わない。

注) 生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コースの細胞内ダイナミクス研究分野は募集を行わない。

注) 生命機能科学専攻 システム生物工学教育コースの家蚕遺伝子資源学研究分野は募集を行わない。

※各専攻の研究分野等については、8 頁を参照のこと。

3. 願書受付期間

令和5（2023）年7月10日（月）から令和5（2023）年7月13日（木）17時まで（郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと。）

4. 出願手続

(1) 提出書類

提出書類等	注意事項
入学願書 受験票 照合票	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。 出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽の写真(3.5cm×2.5cm)を所定の位置に貼ること。
修士課程 修了証明書	① 出身大学(研究科)長が発行した修士課程修了証明書若しくはそれに相当する証明書 ② 出身大学(研究科)長が発行した修士課程成績証明書(厳封したもの) ③ 修士論文(写) ※①～③の書類については、本学府の修了者及び出願資格(6)、(7)による出願者は不要である。
研究計画書等	① 研究計画書:本学府所定の用紙に、在学中に行う研究分野に関する研究計画を記入すること。(出願資格(6)、(7)による出願者は事前に提出するので不要) ② 研究的活動実績を示す資料:著書、学術論文、学術講演、特許等があれば、その写しなどを添付すること。(出願資格(6)、(7)による出願者は事前に提出するので不要)
推薦書	本学府所定の用紙に、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの (出願資格(6)、(7)による出願者は事前に提出するので不要)
外国語資格試験	外国語資格試験スコア提出(農業資源経済学専攻)については7頁を参照。 ※出願要件にスコアが設定されているので留意すること。
入学検定料の支払いを 証明する書類	支払いを証明する書類を本学府所定の様式に貼付のうえ、提出すること。
受験票発送用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、354円分の切手(速達料金を含む。)を貼ったもの。

(2) 入学検定料

入学検定料 30,000円

入学検定料は次の方法で令和5年7月3日（月）以降に納付すること。

A 銀行振込み

本要項に綴込みの【振込依頼書】の太枠で囲まれている記入欄に、必要事項を全て黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さずに銀行窓口へ持参し、振込手続きをすること。詳しくは本要項10頁を参照すること。

注) ゆうちょ銀行・ATM・インターネットでの振込はできない。なお、三井住友銀行本支店にて振込をする場合の振込手数料は無料となるが、他行から振込む場合は、振込手数料は志願者が負担することとなる。

B コンビニエンスストア支払い（日本国内のみ）

次のホームページで手続きすること。

<https://e-shiharai.net/> 詳しくは11頁を参照すること。

C クレジットカード

(ア) 次のカードを使用すること。

Visa、Master Card、JCB、American Express、銀聯ネット

(イ) 次のホームページで手続きすること。

<https://e-shiharai.net/> 詳しくは11頁を参照すること。

- (3) 出願書類提出先
九州大学農学部等事務部学生課学生係
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 ウエスト 5 号館 3 階 322
電話 (092) 802-4508, 4509

(4) 出願方法

(1) の提出書類を一括し、所定の期日までに提出先へ持参又は郵送すること。郵送の場合は、必ず書留速達とし、封筒表面に「**博士(社会人)入学願書**在中」と朱書きすること。

(5) 受験票について

受験票が試験日の1週間前になっても郵送で届かない場合には、4. (3) 出願書類提出先へ連絡すること。

5. 出願資格の事前審査

1. の出願資格の(6)、(7)による出願者は、出願に先立ち出願資格の事前審査を行うので、次の書類を4. (3)の出願書類提出先へ提出すること。

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便として封筒表面に「**博士(社会人)事前審査**」と朱書きすること。

(1) 提出書類

提出書類等	注意事項
出願資格認定申請書	本学府所定の用紙に必要事項をみれなく記入すること。
推薦書	本学府所定の用紙により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの
研究従事内容証明書	本学府所定の用紙により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの
研究計画書等	① 研究計画書: 本学府所定の用紙に、在学中に行う研究分野に関する研究計画を記入すること。 ② 研究的活動実績を表す資料: 著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば、その写しなどを添付すること。
学修歴 活動履歴等 実務経歴等	現在までの学修歴、活動歴、実務経歴等(以下「学修歴等」という。)について、具体的に自由形式で記述したものを提出すること。なお、学修歴等については下記①～④のような事項が考えられる。 また、学修歴等に関する著書、論文、報告書等があれば添付すること。 ① 大学、短期大学、高等専門学校等における学修歴 ② 研究機関、教育機関、企業等における実務経歴 ③ 海外における国際的団体等での活動経歴 ④ 英語を含む語学力
最終学校の修了(卒業)証明書	最終出身学校長が発行したもの。
最終学校の成績証明書	最終出身学校長が発行し、厳封したもの。
返信用封筒 (資格審査結果送付用)	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、事前審査を受ける者の郵便番号、住所、氏名を明記し、344円分の切手(速達料金を含む)を貼ったもの。

(2) 提出期間

要項発表の日から令和5(2023)年6月19日(月)17時までの期間

(3) 審査結果

審査の結果については、令和5(2023)年6月30日(金)までに申請者あてに通知するので、資格があると認定された者は、4. の出願手続を行うこと。

6. 試験日及び場所

月日(曜)	時間	試験科目
8月22日(火)	13:00~16:00	口頭試問

※ 各科目の集合時間

「口頭試問」・・・各教育コースの指示による。

※ 試験は、伊都地区ウエスト5号館で行います。

※ 試験室及び試験時間割は、受験票発送時に通知する。

7. 選抜方法

口頭試問(過去の研究的活動実績の報告を含む)、成績証明書を総合して行う。

8. 合格者発表

令和5(2023)年9月7日(木)10時に伊都地区ウエスト5号館掲示板に掲示するとともに、合格者には本人あてに通知を発送する。

9. 入学料及び授業料

入学料：282,000円(予定額)

授業料：〔前期分〕267,900円(予定額) 〔年額〕535,800円(予定額)

※ 入学料・授業料については、入学時まで改定が行われた場合には、その改定額を適用する。また、授業料について在学中に改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用する。

10. 願書等請求

募集要項及び入学願書等の請求は、4.(3)の出願書類提出先へ行うこと。

なお、郵送で請求するときは、返信先住所、氏名等を明記して郵便切手250円分を貼った角形2号封筒(縦33.2cm×横24.0cm)を同封の上、封筒表面に「**博士(社会人)願書請求**」と朱書きすること。

11. 注意事項

(1) 願書を提出する際は、受験を希望する分野の指導教員に必ず事前に連絡を取ること。

(2) 願書受理後は記載事項の変更・検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還するので、4.(3)の出願書類提出先へ連絡すること。

(3) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに農学部等事務部学生課学生係で受領すること。

(4) その他不明の点があれば、4.(3)の出願書類提出先へ問い合わせること。

12. 個人情報の取り扱いについて

入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施、入学手続き、入学後の奨学・厚生補導並びに修学指導に関する業務を行うために利用し、上記の目的以外には利用しません。

13. 受験上の注意

(1) 試験室は、伊都地区ウエスト5号館(福岡市西区元岡744)です。

(2) 試験当日は、各試験科目の集合時間を厳守ください。試験室には、集合時間の10分前から入室できます。

(3) 携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、必ず電源を切っておいてください。

(4) 遅刻による試験室への入室限度時刻は試験開始後30分です。なお、交通機関の事故又はやむを得ぬ事由により、試験開始後30分以上遅刻した者は、監督者に申し出てください。

(5) 試験終了までは、退室できません。

14. 入学志願に当たっての留意事項

本学府では、入学後に専攻・研究分野を変更することは原則として許可されない。従って、志望専攻・研究分野の決定に当たっては、研究内容等について十分に検討した上で出願すること。

15. 障害等のある入学志願者について

本学府では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することがありますので、令和5(2023)年6月23日(金)までに下記連絡先まで相談してください。

連絡先

九州大学農学部等事務部学生課学生係

〒819-0395 福岡市西区元岡744 ウエスト5号館3階 322

電話 (092) 802-4508, 4509 Fax (092) 802-4542 E-mail noggakus@jimui.kyushu-u.ac.jp

16. 入学検定料の免除について

(1) 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるものは、次に該当する者です。

ア 東日本大震災、熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年台風第 19 号および令和 2 年 7 月豪雨における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、準半壊または準半壊に至らない損壊（一部損壊）と判断された場合、流失した場合

② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

※ なお、上記災害救助法適用地域以外で被災した志願者で、上記のいずれかに該当する者については、学務部入試課(092-802-2004)へご相談ください。

イ 東日本大震災において、居住地が福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域（計画的避難区域を含む）に指定された者

(2) 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする場合は、あらかじめ農学部等事務部学生課学生係(092-802-4508)へ連絡し、該当すると判断された者は、入学検定料免除申請（九州大学 Web サイトからダウンロード、URL：<https://www.kyushu-u.ac.jp/>）に、次のうちいずれかの証明書等を添えて出願書類とともに提出してください。

なお、申請が認められた場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

ア (1) ①に該当する場合
り災証明書

イ (1) ②に該当する場合
死亡又は行方不明を証明する書類

ウ (1) イに該当する場合
被災証明書

17. その他

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施方法等が変更になる場合があります。

各専攻のアドミッションポリシー

資源生物科学専攻

本専攻では、人類に課せられた最重要課題の一つである食料問題の克服を基本理念として、陸圏、水圏を包括した食料資源生物の持続的安定供給、革新的生産技術、保護管理および資源生物生存環境の保全を目指し、分子・細胞から生態系にまで至る幅広い専門知識と先端的技術、深い洞察力および豊かな創造性を併せ持つ人材を体系的、組織的に育成することを教育目標とする。生命の営みや生物生産の仕組みに関心をもち、将来、食料問題の解決や、生物生産を支える豊かな環境の創造に挑戦しようとする意欲をもった人物を期待する。

環境農学専攻

本専攻では、生物生産環境、生物生存環境の保全・修復・創生と資源の生産・加工・利用を図り、環境と資源利用が調和した高度で持続可能な社会の構築に寄与する人材を体系的、組織的に育成することを教育目標とする。先端的知識、包括的思考力、高度な課題探求・解決能力の修得と学際的かつ国際的に活躍するために必須となる英語、化学、生物学、物理学、数学、経済学などの基礎学力、および研究遂行のための熱意・能力・資質をもった人物を期待する。

農業資源経済学専攻

本専攻では、社会科学総合の観点から、国際フードシステムの社会経済問題に関する高度な研究能力と国際性を備えた指導力を持つ人材を体系的・組織的に育成することを教育目標とする。そのために必要となる英語、経済学及び各研究分野の基礎知識を広範に修得し、熱意を持って研究を推進できる能力を有する人物を期待する。

生命機能科学専攻

複雑な生命現象の発現と調節に係る機能素子の作用機構の解明とデザイン、細胞内ネットワークシステムの構成要素(分子)間の相互作用の解明、有用微生物やバイオマスの機能を利用した持続型・低環境負荷型有用物質生産技術の確立、食の機能性・安全性・製造技術など総合科学としての食科学に関する広範な専門知識と総合力、深い洞察力および豊かな創造力を養うことを教育目標とする。生物機能分子とそのシステム、生物機能の工学的応用、および食科学に強い関心を持ち、それらの分野を取り巻く課題に果敢に挑戦しようとする強い意欲をもった人物を期待する。

1.口頭試問

専攻	教育コース	博士後期課程 口頭試問
資源生物科学	農業生物科学	これまでの研究概要の英語要約(A4、1枚程度)及びその内容のプレゼンテーション(プレゼンテーションは日本語も可)。英語資格試験スコア提出は不要。
	動物・海洋生物科学	これまでの研究概要の英語要約の提出(A4、1枚程度)及びその内容の英語スライドによるプレゼンテーション(プレゼンテーションは日本語も可)。外国語資格試験スコア提出は不要。
環境農学	生産環境科学	修士論文等の口頭発表と口頭試問。別途出題する外国語筆記試験を実施。
	森林環境科学	これまでの研究概要の英語要約の提出及びその内容のプレゼンテーション(プレゼンテーションは日本語も可)。英語資格試験スコア提出は不要。
	サステナブル資源科学	英語説明のあるスライドによるプレゼンテーションおよび英語発表要旨(A4、1枚程度)の提出。
農業資源経済学	農業資源経済学	外国語資格試験スコアの提出。(以下2を参照。) 修士論文の口頭発表と口頭試問を行う。
生命機能科学	生物機能分子化学	修士論文又は業務内容の英語要約及び英語スライドによるプレゼンテーション(プレゼンテーションは日本語も可)。外国語資格試験スコア提出は不要。
	システム生物工学	修士論文又は業務内容の英語要約及びその内容のプレゼンテーション(プレゼンテーションは日本語も可)。英語資格試験スコア提出は不要。
	食料化学工学	修士論文又は業務内容の英語要約及びその内容のプレゼンテーション(プレゼンテーションは日本語も可)。英語資格試験スコア提出は不要。

2.外国語試験 (農業資源経済学専攻)

- ・外国語試験は下記の外国語資格試験スコア証明書(写し)を入学願書とともに提出すること。
- ・試験当日スコア証明書(原本)を必ず持参すること。
- ・試験スコアの正式な証明書の取得には時間がかかる事に留意すること。

専攻	事前提出する外国語スコア証明書
農業資源経済学	TOEIC(L&R) 550点以上またはTOEFL-iBT 57点以上

- (1)スコア証明書とは、実施団体が発行し本人に直接郵送されたもので、TOEIC(L&R)のOfficial Score Certificate(公式認定証)またはTOEFL-iBTのTest Taker Score Report(受験者成績書)を指す。いずれのスコアも出願書類提出時から2年以内のものに限る。
- (2)以下のスコアは認められない。
TOEIC IP、カレッジTOEIC、TOEFL ITPテストなどの団体受験制度
TOEIC Speaking and Writing、TOEIC Bridge、TOEIC IP Score Reportなど
- (3)注意事項
 - ・願書提出時にスコア証明書(写し)を提出すること。
 - ・出願要件にスコアが設定されているので留意すること。
なお、設定スコア未達の願書は出願できない。また、設定スコアは外国語試験の合格を意味しない。
 - ・出願時より新しいスコア証明書(原本)を持参してもよい。最終的な評価は当日持参のスコア証明書(原本)のみに拠る。原本に関しては試験当日の本人確認後、本人へ返却します。
 - ・試験当日スコア証明書(原本)を忘れた場合は、8月25日(金)17時までに、九州大学農学部等事務部学生課学生係へ持参又は郵送すること。
なお、郵送の場合は、返信用封筒を同封のうえ、8月25日(金)17時必着とする。
スコア証明書(原本)提出について、提出期限厳守とし期限を過ぎてからの提出は認めない。

博士後期課程

研究分野及び指導教員一覧

※研究内容等の詳細についてはホームページ(<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/organization/teacher/index-mas.html>)を参照すること。

専攻	教育コース	研究分野	教授	准教授・講師	専攻	教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
資源生物学	農業生物学	植物育種学	安井 秀	山形 悦透	農業資源経済学	農業資源経済学	食料農業政策学	磯田 宏	渡部 岳陽
		作物学	石橋 勇志				農業経営学	井上 憲一	
		植物生産生理学	東江 栄	齋藤 和幸			食料経済分析学	前田 幸嗣	
		植物病理学	古屋 成人	飯山 和弘			食料流通学		森高 正博
		園芸学	尾崎 行生				環境生命経済学	矢部 光保	
		動物学		岩森 巨樹			国際農業開発学		野村 久子
		昆虫ゲノム科学	日下部 宣宏				生物化学		沼田 倫征
		昆虫学	廣渡 俊哉(注1)	紙谷 聡志		水族生化学	中尾 実樹	袖本 智軌	
		天敵微生物学	青木 智佐			海洋資源化学		沖野 望	
		天敵昆虫学		上野 高敏 津田 みどり		生物物理化学	角田 佳充	西本 悦子	
		生物保護管理学	高須 啓志			植物栄養学	松岡 健	丸山 明子	
		農業生産生態学	穴井 豊昭			農業薬剤化学	有澤 美枝子		
		生物環境調節学	吉田 敏	江口 壽彦		ゲノム化学工学	中村 崇裕	風間 智彦	
		昆虫産業創生学		Lee Jaeman		細胞内ダイナミクス	Drummond Douglas Robert		
	衛生昆虫学		藤田 龍介	遺伝子制御学		田代 康介(注1)			
	動物・海洋生物学	家畜生体機構学	保坂 善真	西村 正太郎 スルチヨードリ ビシュワジツ	生命機能科学	システム生物学	細胞制御工学	片倉 喜範	
		動物繁殖生理学		山内 伸彦			合成生物学	花井 泰三	
		畜産化学	辰巳 隆一				発酵化学	竹川 薫	樋口 裕次郎
		代謝・行動制御学	安尾 しのぶ				微生物工学	中山 二郎	善藤 威史
		家畜生産生態学		高橋 秀之			土壌環境微生物学		田代 幸寛
		動物生命科学	中村 真子				生物機能デザイン	古屋 茂樹	
		海洋生物学	太田 耕平				家蚕遺伝子資源学		
		水産増殖学	小北 智之				植物遺伝子資源学	熊丸 敏博(注1)	久保 貴彦
		水産生物環境学		島崎 洋平			微生物遺伝子資源学	土居 克実	
		アクアフィールド科学	鬼倉 徳雄	栗田 喜久			栄養化学	佐藤 匡央	
	環境農学	生産環境科学	灌漑利水学	凌 祥之(注1)		食料化学工学	食糧化学	立花 宏文	藤村 由紀
			水環境学	原田 昌佳	尾崎 彰則		食品分析学	松井 利郎	田中 充
土壌環境学			金山 素平		食品製造工学		井倉 則之		
土壌学			平館 俊太郎		食品衛生化学		宮本 敬久(注1)	本城 賢一	
気象環境学			廣田 知良	安武 大輔					
農業生産システム設計学			岡安 崇史	平井 康丸					
農産食料流通工学			田中 史彦						
数理モデリング学				Ta Viet Ton					
森林環境科学		植物代謝制御学	(兼)渡辺 敦史						
		森林計画学	溝上 展也	太田 徹志					
		森林保全学	執印 康裕	水野 秀明					
		造林学	渡辺 敦史						
		森林政策学	佐藤 宣子	藤原 敬大					
		森林生産制御学	古賀 信也	榎木 勉 内海 泰弘					
		流域環境制御学	久米 朋宣	智和 正明 菱 拓雄 笠原 玉青					
サステイナブル		木質資源理学	(兼)堤 祐司						
		木質材料工学	(兼)堤 祐司	藤本 登留(注1)					
	森林化学	堤 祐司	小名 俊博						
	生物資源化学	北岡 卓也	一瀬 博文						
	高分子材料学		巽 大輔						
	森林圏環境資源科学	久米 篤	清水 邦義						
	バイオマテリアルデザイン	(兼)北岡 卓也							

注1 ※令和6年3月31日定年退職予定者

募集を行わない研究分野

- <農業資源経済学専攻 農業資源経済学教育コース>
- ・国際農業開発学研究分野
- <生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コース>
- ・細胞内ダイナミクス研究分野
- <生命機能科学専攻 システム生物学教育コース>
- ・家蚕遺伝子資源学研究分野

【予告：令和7年度新設分野の学生募集について】

九州大学大学院生物資源環境科学府では、令和7年4月入学者向け大学院入試（令和6年度実施）より以下の新設分野の学生募集を開始いたします。

専攻	教育コース	分野	研究内容
資源生物科学	農業生物科学	昆虫食科学	昆虫食科学研究分野では、食糧・家畜飼料としての昆虫の普及を目的として、その安全性、機能性、栄養学的知見は元より、複合飼育による安価な大量飼育技術、食品残渣や林業残渣を好んで食べる昆虫の開発、ゲノム編集技術を用いた高付加価値昆虫の創出など、昆虫を食べることの意義を理解した上で「安全・安心な昆虫食を実現する昆虫科学」の創出に関する教育研究を展開する。
		昆虫 DX	昆虫 DX 研究分野では、昆虫種同定の自動化、標本データの高度デジタル化技術の確立により、分類学的知見を応用利用するための基盤を構築し、生物多様性に基づく詳細な環境アセスメントなどの未来環境デザインに関する教育研究を展開する。

